

# 坂本だより

長崎市立坂本小学校 学校便り  
令和3年 7月20日(金) No 7  
編集・発行責任者 校長 金子 伸治

教育目標 笑顔の花を咲かせよう ～自ら考え、学び合い、行動し～  
笑顔いっぱい(心)、元気いっぱい(体)、やる気いっぱい(頭)

## ココロねっこ運動 強調月間のお知らせ

内閣府では昭和54年以来、毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、青少年の非行・被害防止対策の推進を呼びかけています。本県でも7月を「ココロねっこ運動強調月間」と位置づけています。本期間中は全国強調月間の重点課題に基づき、趣旨に対する深い理解と認識のもと家庭・学校・地域社会・行政が一体となり青少年の健全育成と環境浄化を目的とした「ココロねっこ運動」を集中的に実施し、県民一人一人への更なる普及と実践を目指しています。その紹介をします。

### 〈強調月間の重点課題〉

- 1 ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止
- 2 有害環境への適切な対応
- 3 薬物乱用対策の推進
- 4 不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止
- 5 再非行(犯罪)の防止
- 6 いじめ・暴力行為等の問題行動への対応

### 〈強調月間の実施事項〉

- 1 広報啓発活動の推進
- 2 適切なインターネット利用の推進  
(「ながさき基準」等の推進)
- 3 子供の安全確保と保護活動や有害環境浄化活動の推進

このように県下一斉に意識を高める運動があつていますので、生活の上で気をつけることやインターネット、SNSの利用の仕方を確認し、非行防止や安全な生活を送ることができるようにぜひ御家庭でも話をしてください。

〈期間〉7月1日(木)～7月31日(土)  
「ながさき基準」を御参照ください。(別資料)

## 前向きな心に

先日、ある雑誌を読んでいたら「自分も子供の頃そうだった」と思うことが書いてあったので紹介します。

ある男の子が人気のあるテレビ番組を観ている、宿題があつたことを思い出し、「これを観終わったら宿題をやらなくちゃ」と思っていました。そこへ母親から「宿題は終わっているの？まだならこの後、すぐにやりなさいよ」と言われたものだから、結局、その男の子はやる気を失い、宿題をしませんでした。(私もよく言われましたが、先生が怖くて宿題はきちんとしました)ここで、その家族は、「どうして『これからやろう』というときに口を挟まれるとやる気が起きないのか？」ということを考えました。それは、自分の中で「自主的にやろうとしていたこと」が「指示されたからやること」に変わってしまうからではないかと考えたのです。また、相手から「この人は言わなければやろうとしない」とか「忘れていないに違いない」と決めつけられたと思ひ込むことで意欲が下がるのではないかと考えました。そして、その親子は「〇〇をしたら宿題をする」と子供が宣言をして、親も安心して子供の様子を見守ることができたというお話でした。

このように「やる気を失う」ことは、誰しも思い当たる心の働きではないでしょうか。一方で、他者の指摘を「余計な一言」と捉えたままでは、やるべきことにいやいや取り組まざるを得なくなるでしょう。また、指摘した相手に不満を抱いたり、自分も相手の不手際をことさら指摘したりすることにもつながりかねません。同じ「やらなければならない」ことならば「前向きに取り組みたい」ものです。夏休みに、御家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか。